

2026 年 7 月 10 日

株式会社パリミキアセット、アネジメント

代表取締役社長 富田秀夫

第 8 回 「あいのり宣言」取組状況のご報告

私どもパリミキアセットマネジメントは、「世界で一番お客様を幸せにするファンドでありたい」を合言葉に、これまでもホームページやセミナー・説明会等で私どもの考えや他に無い特徴をお伝えしております。このたび、2018 年 1 月に宣言いたしました「あいのり宣言」※の取組状況について、第 8 回目の報告をさせていただきます。

※2023 年 10 月 1 日付け社名変更に伴い、「クローバー5 つの約束」を「あいのり宣言」に変更いたしました。



1. 自分たちが一番良いと思うものをお客様に提供します

当社のファンドは、自分たちだったらどんなファンドがほしいかという視点でつくられているもので、手数料収入を目的としているファンドとは一線を画するものです。常に自分たちで一番良いと思うものを選択し、お客様と共有させていただければと思っています。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」「プロダクトガバナンスに関する補充原則」(顧客の最善の利益の追求・顧客にふさわしいサービスの提供)に対応しております。

当社は、「運用をまかせるときの 8 つの基準」として、新たに組入れファンドを選定する際や定期的に、以下の 8 つの項目に従って評価をしています。

運用をまかせるときの 8 つの基準
①ファンドマネージャー(運用責任者)が明確であるか
②ファンドマネージャーは運用パフォーマンスをあげる動機・情熱は十分あるか
③ファンドマネージャーは運用実績が十分あり、最悪の事態も経験しているか
④ファンドマネージャー自身も投資しているか
⑤ファンドマネージャーは投資家への情報提供が十分されており、信頼関係はいいか
⑥ファンドの規模は適正か
⑦ファンドマネージャーとスタッフ・組織との関係性はいいか
⑧手数料は適正か

評価の方法としては、①各組み入れファンドへのアンケートによる「デューデリジェンス」、②半年に1回程度のインタビュー（面談）、③当社のセミナーで登壇していただく際の参加者の理解度や対応を総合的に判断しております。

なお、①のアンケートは、「組み入れファンド選定の8つの基準」をベースに70項目にわたるアンケートを実施し、当社の基準で5段階評価した結果、各ファンドの平均値は以下のとおりです。

項目	平均値
	2026 年
運用体制の安定性 ①ファンドマネージャー（運用責任者）が明確であるか ③ファンドマネージャーは運用実績が十分あり、最悪の事態も経験しているか ⑦ファンドマネージャーとスタッフ・組織との関係性はいいか	5.0
情報開示の質と量	5.0
投資哲学 ②ファンドマネージャーは運用パフォーマンスをあげる動機・情熱は十分あるか	5.0
投資家との信頼関係、リスクの管理と共有 ④ファンドマネージャー自身も投資しているか ⑤ファンドマネージャーは投資家への情報提供が十分されており、信頼関係はいいか	4.7
ファンドの仕組み ⑥ファンドの規模は適正か	5.0
手数料の適正度 ⑧手数料は適正か	4.6
内部管理態勢	5.0
基準価額の算出方法およびモニタリングの手法	5.0
AML/CFT 管理態勢	5.0

注 1) ○内の数字は「組み入れファンド選定の8つの基準」に対応

注 2) アンケート 70 項目の要約

運用体制の安定性・・・直近の人事異動、運用者としての経験年数、危機の経験有無など

情報開示の質と量・・・投資家とのコミュニケーションの頻度など

投資哲学・・・投資哲学、ファンド創設のきっかけ、独自の強みなど

投資家との信頼関係、リスクの管理と共有・・・長期投資家の比率、運用会社の株主構成比、自身が運用するファンドに自己資金を投資しているか

ファンドの仕組み・・・商品概要の変更の有無

手数料の適正度

内部管理態勢

基準価額の算出方法およびモニタリングの手法

AML/CFT 管理態勢

注 3) アンケートの回収率・・・100%

2. 長期で最高の運用成果を追求します

私どもが組み入れているどんなファンドにも必ず「旬」があります。そこで、世界のプライベートバンクやファミリーオフィスと連携しながら、常に新しく優秀なファンドを発掘してまいります。そして、その時々投資環境に合わせた、ベストなファンド・オブ・ファンズに組み替え続けることで、長期で最高の運用成果を実現できるよう努力してまいります。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」「プロダクトガバナンスに関する補充原則」(顧客の最善の利益の追求)(顧客にふさわしいサービスの提供 注 6, 7)に対応しております。

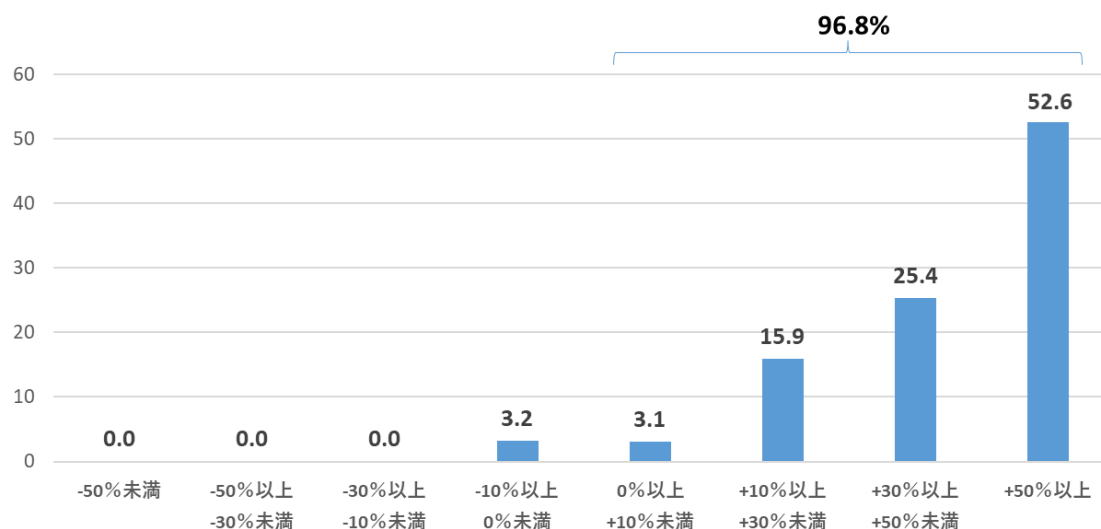
2026年3月末時点の投資信託残高に対するトータルリターンでは、96.8%のお客様が、運用損益でプラスとなっています。なお、以下のグラフについては、金融庁が示した「共通KPI」に基づき作成しております。

※共通KPIの定義・算出方法は、金融庁のホームページをご参照ください。

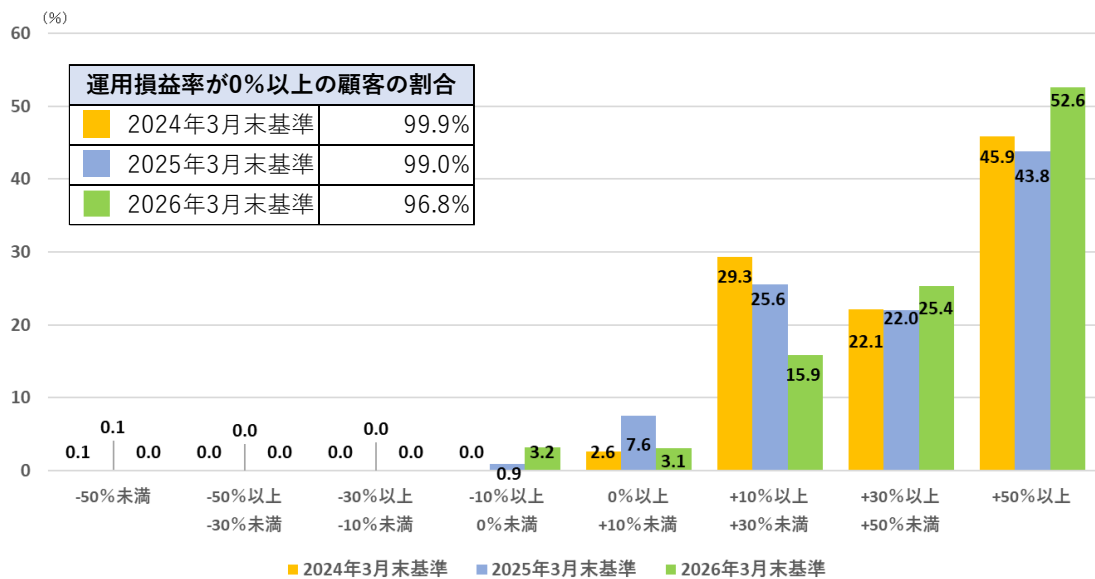
<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20180629-3/02.pdf>

◆投資信託の運用損益別顧客比率

①2026年3月末基準



②各基準年の比較



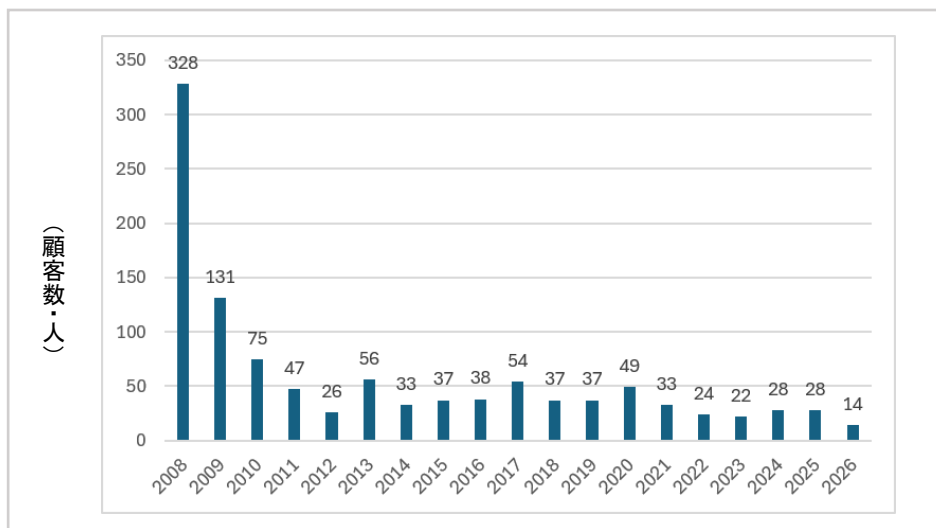
注) 累計買付金額、累計売付金額は、2008年4月8日の設定日から2026年3月末日までの通常の取引データを基に集計(移管等を含まず)、相続等により購入データの存在しない顧客は集計対象外。

小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

◆平均保有年数

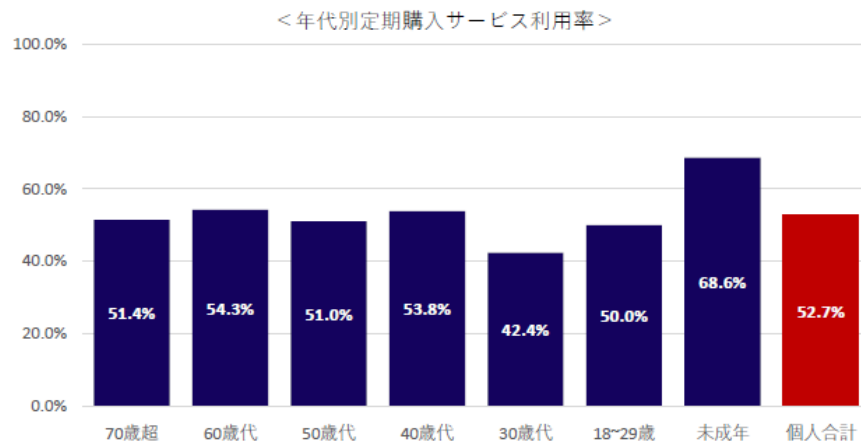
2024年3月末基準	10年10ヶ月18日
2025年3月末基準	11年7ヶ月23日
2026年3月末基準	12年7ヶ月4日

◆投資開始年 (2026年3月末時点で残高がある顧客)



注) 2026年は、1月から3月の数値を表記しております。

◆定期購入サービス(2026 年 3 月 31 日現在)



◆投資信託の組み入れ状況

	2025 年 3 月 31 日現在			(%)	2026 年 3 月 31 日現在			(%)
パ リ ミ キ フ ァ ミ リ ー オ フ ィ ス マ ザ ー フ ァ ン ド※	1	モーラント・ライト・フジ	14.15	1	ピクテ・ゴールド(為替ヘッジ付)	13.96		
	2	ニッポングローブ	9.03	2	モーラント・ライト・フジ	9.53		
	3	トリゴン	8.40	3	トリゴン	8.04		
	4	ピクテ・ゴールド	7.93	4	ニッポングローブ	7.54		
	5	コムジエスト・世界株式	7.73	5	コムジエスト世界	5.14		
	6	SBI ジェイリバイブ	7.53	6	シンプレクス中計	3.86		
	7	コムジエスト・ヨーロッパ 90	5.47	7	コンウェーブ・ゴールド	2.85		
	8	チカラインディアン	4.84	8	コムジエスト・ヨーロッパ 90	2.64		
	9	その他	26.45	9	その他	14.16		
	10	現金など	8.48	10	現金など	32.28		
浪 花 お ふ く ろ フ ァ ン ド	1	コムジエスト・世界株式	30.27	1	シンプレクス中計	14.35		
	2	シンプレクス中計	18.77	2	コムジエスト世界	11.70		
	3	SBI ジェイリバイブ	16.25	3	トリゴン	10.70		
	4	トリゴン	7.72	4	コンウェーブ・ゴールド	7.79		
	5	コムジエスト・ヨーロッパ 90	6.26	5	ニッポングローブ	5.50		
	6	2Xideas	3.78	6	コムジエスト・ヨーロッパ 90	5.23		
	7	NF日経225	2.84	7	SBI ジェイリバイブ	3.41		
	8	コムジエスト・エマーゼンク	2.63	8	コムジエスト・エマーゼンク	3.15		
	9	その他	5.61	9	その他	5.61		
	10	現金など	5.88	10	現金など	27.41		

※コドモファンドは、2025 年 9 月 1 日にファミリーファンド化し、パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンドのベビーファンドとして運用形態を移行しました。

3. 納得の行く費用体系を目指します

長期投資において優位なパフォーマンスを上げるにはコストも重要な要素となります。現在売買手数料は全て無料になっておりますが、信託報酬についても、運用のクオリティを優先しながら、よりお客様に有利な水準に低減できるよう、経営努力を続けてまいります。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」「プロダクトガバナンスに関する補充原則」(手数料等の明確化)に対応しております。

当社が運用・販売する2ファンドを対象のコスト・リターン／リスク・リターンを算出しております。

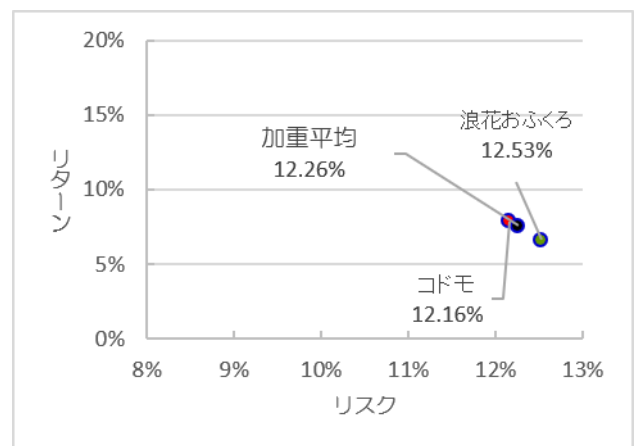
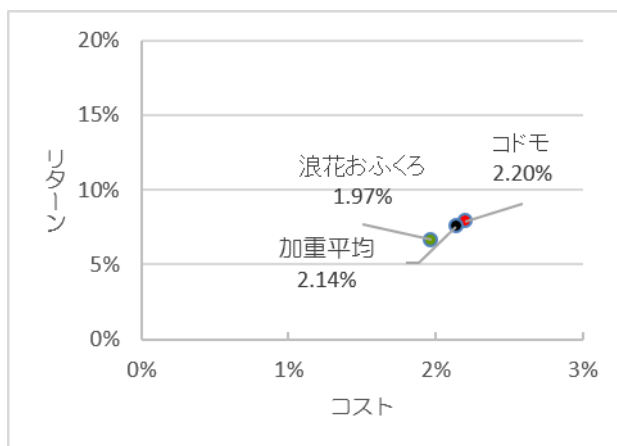
以下のグラフについては、金融庁が示した「共通KPI」に基づき作成しております。

※共通KPIの定義・算出方法は、金融庁のホームページをご参照ください。

<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20180629-3/02.pdf>

◆投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

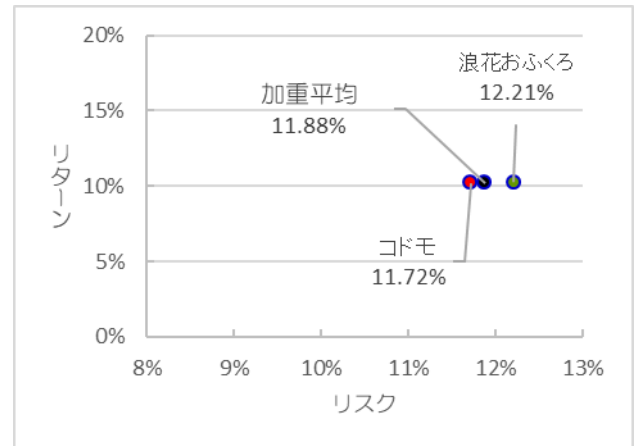
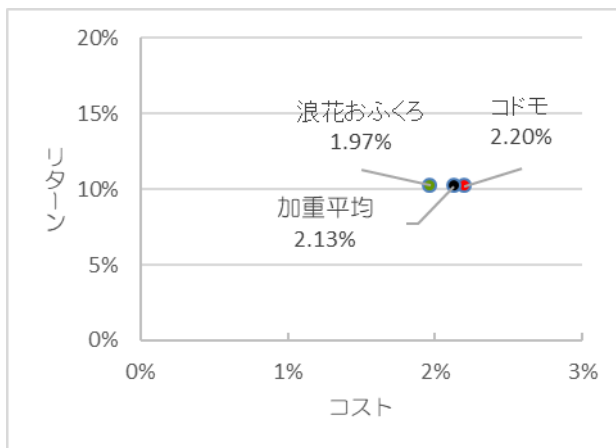
2026 年 3 月末(過去 5 年間/2021 年 4 月 1 日～2026 年 3 月末)



銘柄名	コスト	リターン
コドモファンド	2.20%	7.86%
浪花おふくろ	1.97%	6.64%
残高加重平均値	2.14%	7.55%

銘柄名	リスク	リターン
コドモファンド	12.16%	7.86%
浪花おふくろ	12.53%	6.64%
残高加重平均値	12.26%	7.55%

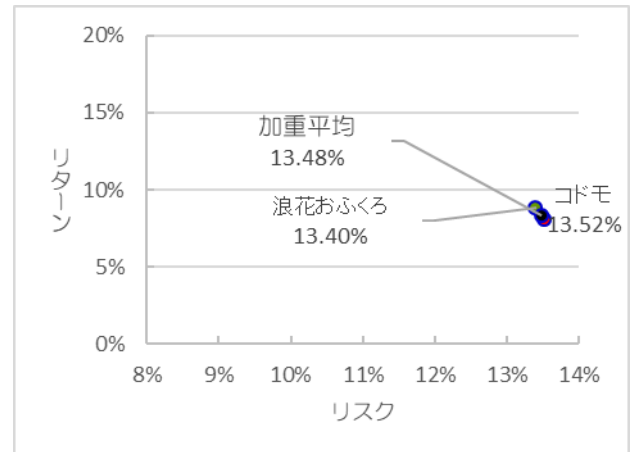
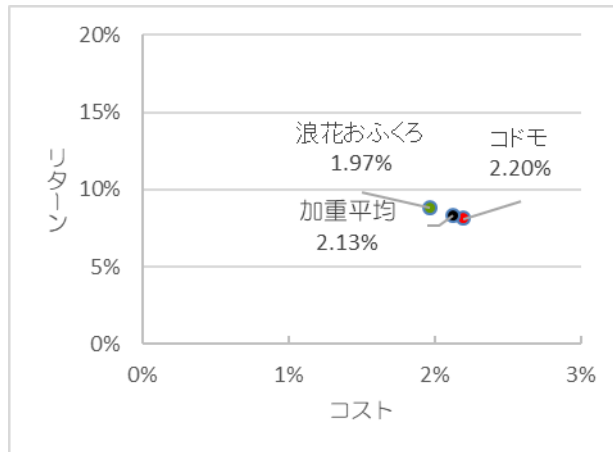
2025 年 3 月末(過去 5 年間/2020 年 4 月 1 日～2025 年 3 月末)



銘柄名	コスト	リターン
コドモファンド	2.20%	10.20%
浪花おふくろ	1.97%	10.23%
残高加重平均値	2.13%	10.21%

銘柄名	リスク	リターン
コドモファンド	11.72%	10.20%
浪花おふくろ	12.21%	10.23%
残高加重平均値	11.88%	10.21%

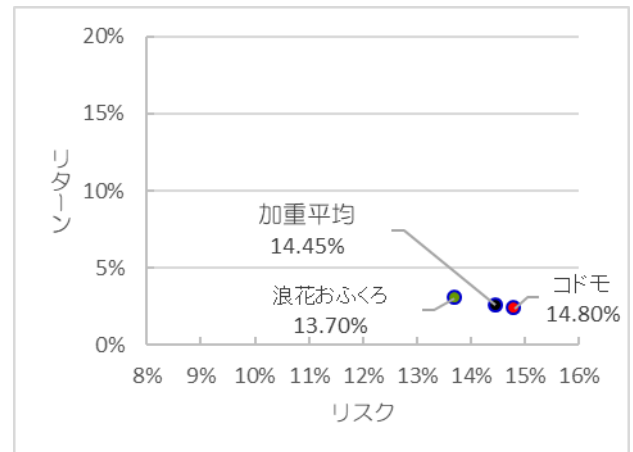
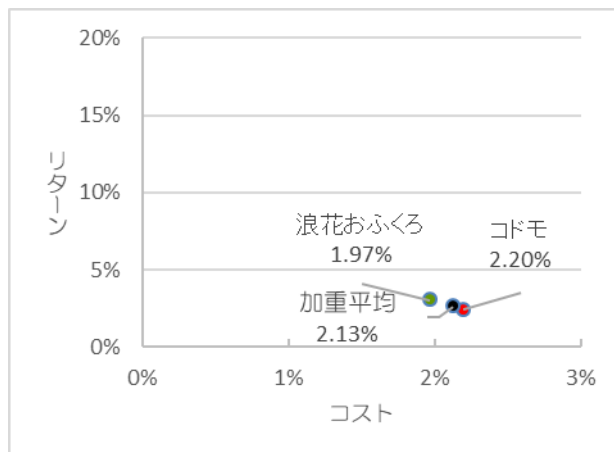
2024 年 3 月末(過去 5 年間/2019 年 4 月 1 日～2024 年 3 月末)



銘柄名	コスト	リターン
コドモファンド	2.20%	8.09%
浪花おふくろ	1.97%	8.80%
残高加重平均値	2.13%	8.32%

銘柄名	リスク	リターン
コドモファンド	13.52%	8.09%
浪花おふくろ	13.40%	8.80%
残高加重平均値	13.48%	8.32%

2023 年 3 月末(過去 5 年間/2018 年 4 月 1 日～2023 年 3 月末)



銘柄名	コスト	リターン
コドモファンド	2.20%	2.40%
浪花おふくろ	1.97%	3.05%
残高加重平均値	2.13%	2.61%

銘柄名	リスク	リターン
コドモファンド	14.80%	2.40%
浪花おふくろ	13.70%	3.05%
残高加重平均値	14.45%	2.61%

4. お客様との信頼関係を大切にします

本当に優れた運用は、運用側だけではなく、お客様との長期の信頼関係のもと、お客様と一緒に行うことで達成されます。特に大規模な市場の調整局面でも、信頼して弊社に追加投資して下さるお客様との強い信頼づくりを重視しています。この実現のためセミナーでは交流会を設け、リラックスした環境で直接意見交換できる場を大事にしています。さらに、お客様専用通話料無料ダイヤルを設け、お客様のご不明点には直接丁寧にお答えする体制を整えるなど、今後もお客様お一人おひとりとの対話を重視してまいります。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」「プロダクトガバナンスに関する補充原則」(重要な情報の分かりやすい提供・顧客にふさわしいサービスの提供)に対応しております。

当社では投資家のみなさまを対象にセミナーを開催しております。

セミナーは「はじめる」「ふやす」「いかす」の3つのカテゴリをご用意し、初級者から上級者までそれぞれを対象として行っております。

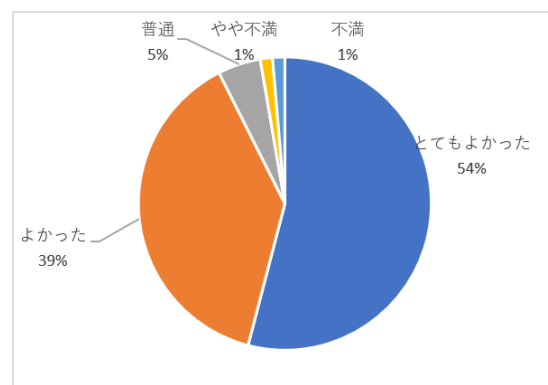
◆セミナーアンケート(2025 年 4 月から 2026 年 3 月)

開催回数 16 回 参加者数 301 名

セミナー開催中、8 回アンケートを実施

アンケート回収数 148 名(回収率 67%)

■セミナーアンケートより



ふやす(中級)

2025 年 11 月(東京)
金融コンサルタント経済評論家 岩本沙弓氏セミナー



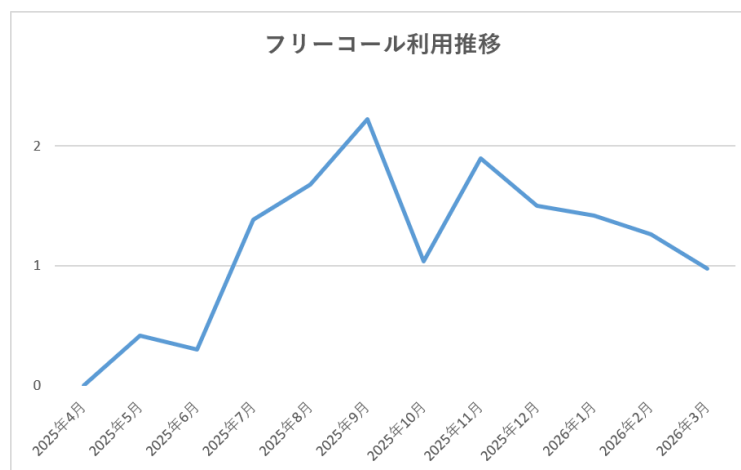
いかす(上級)

2026 年春 たねころ山イベント



◆フリーコール利用状況(2025 年 4 月から 2026 年 3 月)

※2025 年 4 月のフリーコール利用料を「0」として、各月の推移を表示しております。



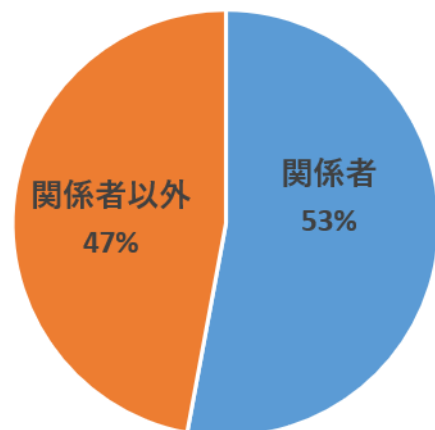
5. お客様とリスクを共有します

世界的には、運用者も資産の多くを自らのファンドに投資しているファンドしか信用されません。私どもパリミキアセットのスタッフも、お客様と同じ条件でファンドの顧客となることで、リスクを共有し、お客様と同じ目線で、運用成果の追求や、コストの削減を自らのこととして追求してまいります。当社のファンドの中には、グループ企業やその従業員も主要な顧客となっているものもあり、これも私どもの大きな特徴となっています。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」「プロダクトガバナンスに関する補充原則」(利益相反の適切な管理・従業員に対する適切な動機づけの枠組み等)に対応しております。

◆関係者投資比率(2026年3月31日現在)

コドモファンドおよび浪花おふくろファンドにおける
関係者(役員、社員、家族(一親等)、関係会社等)の
投資比率は、53%です。



プロダクトガバナンスに関する方針

■基本理念

当社は「世界で一番お客様を幸せにするファンドでありたい」企業理念のもと、お客様の最善の利益を実現する商品提供を確保するための取り組み（プロダクトガバナンス）を徹底してまいります。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」「プロダクトガバナンスに関する補充原則」（補充原則 1）に対応しております。

■プロダクトガバナンス体制

お客様に適切に商品提供を行うために、全部門長が参画するプロダクトガバナンス会議において、運用状況、商品性、開示の適切性などプロダクトの品質維持・決定、実行状況の確認を行い、必要に応じて取締役会に上程します。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」「プロダクトガバナンスに関する補充原則」（補充原則 2）に対応しております。

■プロダクトの組成

当社は、プロダクトの組成に当たり、プロダクトの持続可能性やコストの合理性に加え、想定する顧客属性を、参画するプロダクトガバナンス会議において確認し、必要に応じて取締役会に上程します。また、想定する顧客属性については販売会社と相互に意志疎通を行い、適切なプロダクト提供を推進します。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」「プロダクトガバナンスに関する補充原則」（補充原則 3）に対応しております。

■プロダクトの管理

当社は、組成後のプロダクトに関して、定期的に品質の検証を実施します。プロダクトガバナンス会議において、運用が想定通り行われていないプロダクトは、運用改善を求め、運用の改善あるいは運用改善以外の措置が必要と判断されるプロダクトについては、信託報酬の変更、繰上償還等の適切な措置を講じます。併せて、その実行状況をモニタリングし、同会議において報告を行い、必要に応じて取締役会に上程します。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」「プロダクトガバナンスに関する補充原則」（補充原則 4）に対応しております。

■分かりやすい情報提供

当社は、ファンドの運用体制等につき、丁寧な説明をするよう努めます。また、プロダクトの商品性に関する情報を、その特性に応じて分かりやすくお伝えするよう取り組みます。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」「プロダクトガバナンスに関する補充原則」（補充原則 5）に対応しております。

ファンドにかかわるリスク

当社が運用、販売するファンド（以下、当ファンド）は、ファンド・オブ・ファンズであり、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、「価格変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」、「為替変動リスク」、「カントリートリスク」等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。目論見書のご請求は、株式会社パリミキアセットマネジメント 業務管理部までご連絡ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドに関する情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。

■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パリミキアセットマネジメント お客様サポートチーム

〒104-0061 東京都中央区銀座二丁目8番4号 泰明ビル2階

お客様専用通話料無料ダイヤル：0800-5000-968

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2727号／加入協会 一般社団法人 資産運用業協会

PARIS MIKI
ASSET MANAGEMENT